

アーツコミッション・ヨコハマ(ACY) 助成プログラム



平成 25 年度 交付事業が決定しました。

文化芸術創造都市・横浜を推進！

ACY はアーティストやクリエイターの活動を応援します。

アーツコミッション・ヨコハマは文化芸術のもつ創造性を活かしたまちづくり「文化芸術創造都市・横浜」の推進のために“アーティスト・クリエイターに選ばれる都市・横浜”をめざして創造環境づくりを行っています。平成25年度3助成プログラムについて、交付事業が決定しましたのでお知らせします。



<ACY 活動支援のための助成プログラム>

先駆的芸術活動支援助成

現代芸術分野で活動するアーティストやクリエイターの横浜での創造活動を支援する助成です。

- 採択件数：11件 / 申請数：47件 / 交付予定総額：800万円
- 採択事業：「ドキュメンタリー映画の制作」(人人 FILMS 中村高寛) ほか

都市文化創造支援助成

都市を調査し街に新たな発見をもたらすプログラムや、“ことづくり”のように表現活動の幅を広げることで芸術や創造力の都市における役割を拡張するようなプログラムを支援する助成です。

- 採択件数：4件 / 申請数：23件 / 交付予定総額：500万円
- 採択事業：「(仮)多文化なまちの共生可能な自治」(ART LAB OVA) ほか

創造活動支援助成 ※平成25年度新設

現代アートの国際展「横浜トリエンナーレ」開催都市として、多様な現代アートにふれる機会を市民に提供することを目的に、アーティストやクリエイターが作品発表を行うための経費の一部を支援する助成です。

- 採択件数：4件 / 申請数：13件 / 交付予定総額：273万円
- 主な採択事業：「みつけるホーム / タウン / ヨコハマ プロジェクト (仮称)」(30秒に一回みつける写真道場!! 北川貴好) ほか

※採択事業の詳細は2ページ目以降をご参照ください。

助成制度の詳細はウェブサイトをご参照ください >>> <http://acy.yafjp.org/grants/index.html>

アーツコミッション・ヨコハマ(ACY)は(公財)横浜市芸術文化振興財団が横浜市文化観光局の補助金を受けて運営する事業です。横浜でアートや創造産業、まちづくりなどに携わるアーティストやクリエイター、アートNPO等の活動をサポートする中間支援を行っています。(横浜市中区本町6-50-1 ヨコハマ創造都市センター内 電話: 045-227-7322 <http://acy.yafjp.org/>)

お問い合わせ先

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ヨコハマ創造都市センター
センター長 松井美鈴 担当: 渡辺、池尻 tel. 045-227-7322

< 採 択 事 業 >

1. 先駆的芸術活動支援 助成（採択事業 11 事業 / 交付総額：800万円）

対象者	悪魔のしるし 危口統之	交付金額	1,000,000円
事業名	悪魔のしるしの新作および旧作リメイク 横浜秋冬公演		
事業内容	<p>近年、韓国ナム・ジュン・パイクアートセンター招聘や東京ワンダーサイトレジデンスプログラム参加、スイス3都市での公演などジャンルを越えて活躍する「悪魔のしるし」が、昨年度に続き横浜で演劇公演を行う。新作演劇公演「年老いた地獄、鷲の私(仮題)」に加え、評価の高かった初期作品『注文の多い料理店』(再演)を市内2スペースで上演する。</p> <p>■9月20日～23日、12月13日～15日/会場：横浜相鉄本多劇場 似て非 works</p>		

対象者	長内 裕美	交付金額	1,000,000円
事業名	dancedoudle#2		
事業内容	<p>継続的に開催する、実験的なコンテンポラリーダンス公演。海外のフェスティバル等に招聘・初演し、評価を得た日本未発表作品を逆輸入再演(国内では初演)することで、海外から見た日本人振付家やその作品の新しい価値観を明示することを目指し、アーティスト自らが企画制作するプロジェクト。2回目となる今回は、石川勇太(ベルギー)、長内裕美(ハンガリー・フェレンツフェールとの共演)が作品を発表する。</p> <p>■平成26年3月21日～23日/会場：横浜赤レンガ倉庫1号館</p>		

対象者	人人 FILMS 中村高寛	交付金額	1,000,000円
事業名	ドキュメンタリー映画の制作		
事業内容	<p>06年映画「横浜メリー」を制作した中村高寛の新作ドキュメンタリー映画「ヘンリーの赤い靴」の制作。米映画会社ユナイテッドアーティストの極東支部長として日本にチャールズ・チャップリンを紹介したチャールズ・ミトワ氏の息子ヘンリー・ミトワ氏が生まれ育った当時の横浜をたどり、その生涯をドキュメンタリー化する。また童話「赤い靴」の物語をアニメ化し、彼が後世に伝え託そうとした思いを作品化し、有りし日の横浜を浮かびあがらせると同時に、横浜と日本の近現代史を、ヘンリー・ミトワ個人史から見つめていく。</p> <p>■撮影：5月～12月横浜パート撮影、9月アメリカパート撮影、撮影：5月～12月アニメパート制作/会場：横浜市内、アメリカ等(予定)</p>		

対象者	マームとジプシー 林香菜	交付金額	800,000円
事業名	マームとジプシー「新作/タイトル未定」		
事業内容	<p>岸田國土戯曲賞を受賞するなど注目を集める演出家、藤田貴大のカンパニー「マームとジプシー」の新作演劇公演。象徴的なシーンのリフレイン(繰り返し)を別の角度から見せる映画的手法が大きな特徴であるその手法が、演劇のみならず、あらゆるジャンルの作家・批評家・観客より大きな共感と注目を浴びている藤田の新作公演を横浜から発信する。</p> <p>■11月21日～12月1日/会場：神奈川芸術劇場</p>		

対象者	室伏 鴻	交付金額	1,000,000円
事業名	Edge Festival 仮称(エッジフェスティバル)		
事業内容	<p>コロンビアの若手ダンサーを日本に招き共同制作及び発表を含む、舞踏の大家・室伏鴻キュレーションによるプログラム上演を行うフェスティバル。3年前にさかのぼり、のべ100時間以上にのぼるワークショップ、共同生活を通じてのクリエイションを行ってきた彼らの心揺さぶられる出会いを、横浜を舞台に多くの人と分かち合うことを目指す。</p> <p>■11月18日～24日/会場：横浜赤レンガ倉庫1号館</p>		

(次ページに続く)

対象者	pboxx 新美桂子	交付金額	300,000円
事業名	安野太郎のゾンビ音楽 QUARTET OF THE LIVING DEAD		
事業内容	作曲家・安野太郎のオリジナル・ゾンビ映画と四体のゾンビ（リコーダー演奏機械）による音楽公演。 本公演では、ゾンビコックピットと呼ばれる特別な舞台装置を制作。さまざまなゲストを招いてトークセッションを行い、あらゆる角度からゾンビ音楽の検証を試みる。 ■11月/会場：山手ゲーテ座		

対象者	重力/Note 鹿島将介	交付金額	400,000円
事業名	『リスボン@ペソア』		
事業内容	若手の演劇集団重力/Noteが、ポルトガル人のリスボンを愛し、その海や街に関する作品を多く残した詩人フェルナンド・ペソアのテキストを演劇化。ポルトガルの詩人フェルナンド・ペソアが生み出した知的で情感に満ちた言葉が様々に彩られ、目の前に立ち上がっていく。《海》とそれに寄り添う街の在り方を根源的なモチーフとし、港町リスボンを愛し続けた詩人の言葉は、古くからの港町・横浜でどう響くのだろう。日本ポルトガル友好470周年記念事業。 ■6月13日～16日(計5ステージ)/会場：BankART Studio NYK		

対象者	NPO法人ドリフターズ・インターナショナル 有光茜	交付金額	1,000,000円
事業名	ドリフターズ・サマースクール2013		
事業内容	2010年より始動した、ダンス/建築・空間美術/ファッション/宣伝・制作の4つのテーマに学生や若手が学びクリエーションを行う実践的なワークショップの成果発表公演。4回目となる今年は、多様なジャンルの対話を促し、新たな価値観を創造すること、発表形態にこだわらず自由で実験的な作品を作り上げることを目指す。30代を中心に活躍中の若手アーティストからなる講師陣も注目。 ■9月28日～29日/会場：横浜市内各所(候補地：黄金町、山下町、伊勢佐木町商店街など)		

対象者	汎用動力研究所 牛島達治	交付金額	500,000円
事業名	旅する工房 SEVプロジェクト		
事業内容	美術家・牛島達治が自走可能な移動型工房を制作し、それを駆使したものづくりの旅を行う企画。旅の途中に出会う人や場所と共にもの作りを通じてコミュニケーションを形成する。これは、美術的な表現と展示・公開の仕組みの外側を巡る旅でもある。 ■制作：5月より開始。旅プロジェクト：平成26年1月より(予定)		

対象者	東京 ELECTROCK STAIRS KENTARO!!	交付金額	500,000円
事業名	東京 ELECTROCK STAIRS 新作公演 Vol.8		
事業内容	ヒップホップテクニックをベースに、コンテンポラリーダンステクニックや演劇的要素、さらに、オリジナル音楽とで観ている人の心を揺れ動かす作品を生み出す KENTARO!!主宰の東京 ELECTROCK STAIRS 新作公演。常に話題性のある企画をやり続けることで、一人でも多くの人に劇場に足を運び、パフォーマンスの素晴らしさに触れて貰うことを目指している。 ■10月21日～27日/会場：神奈川芸術劇場		

対象者	きたまり	交付金額	500,000円
事業名	横浜滞在『RE/PLAY(DANCE Edit.)』の創作・上映、新作リサーチ		
事業内容	多田淳之介の演劇作品『再/生』を関東の振付家・ダンサーによるリ・クリエーションするプロジェクト。振付家・ダンサーであるきたまりを中心に、岩淵貞太や遠田まことなどの協働アーティストと作品制作と上演を行う。また翌年以降の共同企画リサーチほか、横浜滞在により振付家・ダンサーとしての新たな展開に向け、活動を展開する。 ■新作リサーチ：10月下旬～平成26年2月下旬 創作・上演：平成26年2月14日～16日 /会場：横浜市内、 急な坂スタジオ		

(次ページに続く)

2. 都心文化創造支援 助成（採択事業：4事業 / 交付総額：500万円）

団体名	ART LAB OVA スズキクリ、蔭山ヅル	交付金額	1,200,000円
事業名	（仮）多文化なまちの共生可能な自治【交付2年目】		
事業内容	<p>横浜市中区若葉町にて多文化共生のあり方を考察するプロジェクト。タイ・韓国・中国からアーティストを招聘、2週間の滞在期間中を通じて横浜パラダイス会館（中区若葉町）にて多文化カフェを開催。近隣の学校、国際教室、にほんご教室、外国人経営の商店、民族学校、外国支援団体、団地などに赴き、リサーチと地域の外国人への聞き取りを重ねる。帰国後、各自が現在の日本人中心の自治会の問題と多文化化の進んだ今後の自治の可能性についての提案書を作成。提案書をパンフレットにし、印刷し全国61の地域国際会協会に無料配布する。町内会と外国人に具体的な働きかけをすることで現在、そして未来の町民が望んでいる自治会の形へ緩やかな変化を促すことを目指すプロジェクト。</p>		

団体名	横浜舞台芸術応援隊実行委員会 高橋マミ	交付金額	2,000,000円
事業名	日韓国際共同公演「舞台の恐れ」-(仮)横浜市結婚式場跡地の記憶		
事業内容	<p>横浜市の結婚式場であった急な坂スタジオの過去を調査、そこで結婚式を挙げた人々をドキュメントし、横浜市の変遷を描く作品の日韓共同製作事業。観客一人に俳優一人が案内役として付き添い、野毛地区、関内地区を徘徊しながら、様々なコミュニケーションをはかる「サイトスペシフィック」であり、かつ「相互コミュニケーション型」および「映像美術」を使った新しい形の表現を提示する。</p> <p>■10月5日～11月12日/会場：急な坂スタジオ周辺 十六夜吉田町スタジオ周辺 関内駅周辺</p>		

団体名	水辺荘 山崎博史・岩本唯史	交付金額	800,000円
事業名	横浜栈橋文化育成プログラム【交付2年目】		
事業内容	<p>「水辺から都市を考える」プラットフォーム水辺荘の運営。「栈橋(水辺)の日常利用を目指した連携と継続」をテーマに、SUP、E-BOAT等による水陸複合ツアー、水辺マップを使った川沿いの店舗や市場、近隣住人とのコミュニケーションWS、アーティストとの協働企画などを継続的に実施。水面へのアクセスにかかせない栈橋に、市民に開かれたプログラムを設定することにより横浜の水面利用を活性化させていくことを目指すプロジェクト。</p> <p>■6月～平成26年3月毎週末を中心に定期開催/大岡川桜栈橋、帷子川防災栈橋ほか</p>		

団体名	ライフアートユニオン ひと&ヒト 金沢眞	交付金額	1,000,000円
事業名	お稽古場から地域活性化！「ハマげいこ」プロジェクト【交付2年目】		
事業内容	<p>横浜市内の日本伝統のお稽古場環境の情報を収集整理し、市民と稽古場のつながりをつくり地域文化の再生と活性化を促進するプロジェクト。</p> <p>横浜稽古場情報誌「ケイコ場えきすぷれす」の発刊や施設横浜稽古情報システム「ネット DE ハマげいこ」WEB公開、お稽古体験会・ワークショップ「ケイコ場とれいん」開催、町のお師匠さん達と外国人アーティストの交流会、稽古場ネットワークを利用した横浜の独自の文化創造（コンサート等2企画）、お稽古祭「ハマとら祭」開催（会場：象の鼻テラス予定）などを行う。</p>		

(次ページに続く)

3. 創造活動支援 助成（採択事業：4事業/交付総額： 273万円）

団体名	30秒に一回みつける写真道場！！北川貴好	交付金額	800,000円
事業名	みつける ホーム／タウン／ヨコハマ プロジェクト（仮）		
事業内容	<p>クリエイターの視点で、映像と音楽と町とがコラボレーションしてできあがる交流の現場と展覧会。町を一日歩いて、その風景を約1,000枚撮影し、即日映像化、即発表をし続けている団体が、横浜で活動を行い、プロセスを重視した展覧会を仕掛ける。横浜の街や家やスタジオの中で創作の現場を作っていくワークショップや、集まった作品やインスタレーションの展覧会を行う。</p> <p>■ワークショップ開催：9月～平成26年1月（予定） 展示：平成26年1月（予定） /会場：未定</p>		

団体名	青田真也	交付金額	730,000円
事業名	青田真也：市民・学生参加型公開制作及びオープンスタジオ、展示		
事業内容	<p>現代美術作家 青田真也が、横浜・黄金町に滞在し新作制作を行う。地域の人々が制作に加わる参加型の滞在制作で、オープンスタジオ形式で制作現場も公開する。市民との共同制作を通して、横浜市地域文化の発展を目指す。</p> <p>■11月～平成26年1月（予定） /会場：黄金町エリアマネージメントセンター（予定）</p>		

団体名	TETSUSON 林淳一郎	交付金額	400,000円
事業名	卒業制作合同展示会 TETSUSON 2014		
事業内容	<p>関東や東海、北陸など全国各地の学校からスタッフが集い全ての運営も学生が担う、日本各地の学生クリエイターのための卒業制作合同展示会を横浜で開催する。TETSUSONは、2001年の発足以来、分野・大学・国といったあらゆる枠を超え2,000人を超える参加者と共に、その時代ごとに新しい可能性を追求してきた。今年は業界で活躍するアーティストをゲストに、シンポジウムやトークイベントも行う。</p> <p>■平成26年3月（予定） /会場：BankART Studio NYK</p>		

団体名	有限会社アイトゥーン 伊藤有壱	交付金額	800,000円
事業名	ハーバーテイル 横浜展示イベント（仮）		
事業内容	<p>アニメーション作家伊藤有壱（アイトゥーン代表）が横浜の街から着想を得て作成したアニメーション作品「ハーバーテイル」の展示会、新作の公開制作（開催：横浜人形の家）の応援プログラム。ベイエリアの各会場で過去の作品上映会、トークイベント、展示、「ハーバーテイル」応援コーナーの設置、制作スタジオであるアイトゥーンのオープンスタジオ等を行う。</p> <p>■10月5日～11月10日 /会場：横浜港大さん橋国際客船ターミナル、横浜赤レンガ倉庫1号館ほか</p>		

アートコミッション・ヨコハマは、引き続き拠点形成支援のための助成事業を行っています。

■アーティスト・クリエイターのための事務所等開設支援助成

アーティストやクリエイターが関内・関外地区に既存の民間物件を賃貸借してスタジオやアトリエ、事務所等を開設する際に助成金を交付。横浜都心の民間物件の空室を解消するとともに創造産業の振興、その波及効果として地域の活性化を目指します。 【申請期限：平成26年1月10日（金）】

■芸術不動産リノベーション助成

官民共同でアーティストやクリエイターの間づくりを進める“芸術不動産”。

関内・関外地区の民間の建物オーナーが、アーティストやクリエイターの活動拠点を軸として未利用物件を転用・活用するために建物を改修する場合の費用を補助。将来的に、物件周辺地域への活性波及も目指します。 【申請期間（先着順）：平成25年5月1日（水）～12月27日（金）】